

仮設住宅入居世帯健康調査票

(種別) 該当するものに○

妊婦・乳幼児・知障・身障・心・要介護者・疾病・その他の高齢・独居

調査年月日 平成 年 月 日

調査者名 (所属)

(氏名)

1 世帯の状況

仮設入居前の居所:

避難所

仮設住宅名	棟 号室	入居日 年 月 日	被災状況					
住所 (登録)			TEL					
緊急連絡先 (別居)	[氏名]	[続柄] [住所]	[TEL]					
家族構成・面接者に○印	氏 名	性別	続柄	生年月日 (年齢)	職業	健康状態	手 帳	介護認定
	A			()			身障・療育・精神 (級)()(級)	有・変更必要申請必要
	B			()			身障・療育・精神 (級)()(級)	有・変更必要申請必要
	C			()			身障・療育・精神 (級)()(級)	有・変更必要申請必要
	D			()			身障・療育・精神 (級)()(級)	有・変更必要申請必要
	E			()			身障・療育・精神 (級)()(級)	有・変更必要申請必要
F			()			身障・療育・精神 (級)()(級)	有・変更必要申請必要	
経済状況	年金・給与・生保 (担当CW) ・ その他						要フォロー	
震災の影響	家族状況変化 無・有 () 仕事状況変化 無・有 () その他 ()							

2 要介護者 (上記世帯調査において妊婦・乳幼児・知障・身障・心・要介護者・疾病・その他の高齢・独居については全て記入)

心身状況	受療状況	社会資源活用状況	対応の必要性	対応状況
(種別) 妊婦・乳幼児・知障・身障・心 要介護者・疾病・その他の高齢・独居			要対応 ・ 対応不要 理由 1週間以内・1か月以内・以降	
(種別) 妊婦・乳幼児・知障・身障・心 要介護者・疾病・その他の高齢・独居			要対応 ・ 対応不要 理由 1週間以内・1か月以内・以降	
(種別) 妊婦・乳幼児・知障・身障・心 要介護者・疾病・その他の高齢・独居			要対応 ・ 対応不要 理由 1週間以内・1か月以内・以降	
(種別) 妊婦・乳幼児・知障・身障・心 要介護者・疾病・その他の高齢・独居			要対応 ・ 対応不要 理由 1週間以内・1か月以内・以降	

※疾病 (難病含む)

※心 (精神含む)

※乳幼児: 就学前

※その他の高齢者: 65歳以上の高齢者

3 歯科の状況（以下の項目にあてはまる方がいれば記載）

- ① 震災前と同じように歯みがきができない方がいる。 →該当者名（ ）
 ② 震災前に歯の治療をしていたが、中断している。 →該当者名（ ）
 ③ 義歯がなくなって、食べるときや話をするとき不便である。 →該当者名（ ）
 ④ 他に、歯、歯ぐき、口の中の状態で困っていることや気になること。

[]

4 栄養の状況（家族全体の傾向で記載）

①主食（米・パン・めん類）	3食食べている ・ 2食は食べている ・ 1食は食べている ・ 食べていない
②主菜（肉・魚・卵・大豆製品）	3食食べている ・ 2食は食べている ・ 1食は食べている ・ 食べていない
③副菜（野菜・海藻）	3食食べている ・ 2食は食べている ・ 1食は食べている ・ 食べていない
④牛乳・乳製品	1日1回摂っている ・ 2-3日に1回は摂っている ・ 食べていない
⑤果物	1日1回摂っている ・ 2-3日に1回は摂っている ・ 食べていない
⑥調理の頻度	毎日している ・ 時々している ・ ほとんどしない（理由 ）
⑦食品調達の問題 （調達しにくいなど）	なし ・ あり （ ）
⑧食事で困っていること	なし ・ あり （ ）

5 近隣・社会との関係

交友関係	悩みを相談できる友人 有 ・ 無 仮設住宅での親しい友人 有 ・ 無
近所づきあい	全くない ・ あいさつする程度 ・ 会話をする程度 ・ 互いの家行き来する ・ 用事をたのむ
来訪者	有 親族（子[] ・ 兄弟姉妹 ・ 嫁 ） ・ ボランティア ・ ヘルパー ・ その他 ・ 無
自治会等役割	前住所では役員をしていた ・ 現在はしていないが今後やりたい ・ 何もしていない [だれが、どんな役を]
活動参加意向	サークルやグループに参加している ・ 今後地域活動やサークルに参加したい ・ 参加意向なし
買い物や受診等の移動手段	有（ ） ・ 無

相談・要望等

仮設住宅入居世帯調査票 記載マニュアル

- ◎ 目的: 支援の必要な人をピックアップし、必要な支援に結び付ける。

新しいコミュニティづくりのキーパーソンとなる人材を見つけ出す。

戸別訪問の後は、集会所を利用した健康相談や健康教室、運動教室、総合相談会など
住民が外に出て顔を合わせ、話し合ったりする場を作り、コミュニティ活動につなげる。

※「ごみカレンダー」「食中毒予防の6つのポイント」を届ける。

※必要な方には、「こんにちは地域包括支援センターです!」「こころ」関係リーフレットを渡す。

※医療機関情報、市報を持参し、聞かれたら答えられるように。

※「不在」「入居していない」を地図に書き込む(後日確認します。)

記載方法

1 世帯の状況

- ① 住民票は、移動しないままでの入居になるので これまでの住所を確認
- ② 家族構成は丁寧に聞き取ってください。世帯票を参考に違っているところを確認
- ③ 身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳の有無
保持者は、障害福祉課から後日詳しい調査に行きます。 → 障害福祉課へ情報提供(付箋をつける)
どんなサービスが必要か、利用できているか確認、要援護者欄に記載
- ④ 介護認定を受けているか 介護度の変更などが必要or新たに申請必要(本人の意思確認をすること)
→ できれば「要介護相談票(改)」に記載し、保険課に情報提供(付箋をつける)
- ⑤ 「難病」認定有の方(健康状態欄に記載) → 石巻保健所に情報提供(付箋をつける)

2 要援護者

- ① 左の欄に、個人をABCで記入
- ② 当てはまるすべての種別に○、最優先に◎
- ③ うつ病とPTSDのスクリーニングテスト(面接した個人ごとに記入)
2つの質問項目の回答の合計が3点以上の場合は陽性。 → 要支援者欄に記載
[全くない(0)、数日(1)、2週間の半分(2)、ほぼ毎日(3)] → 陽性の場合、心のケアチームに依頼
(本人にも「心が疲れている状態」、専門家の相談を勧めたいと話し、了解をとる。)
- ④ 対応の必要性 : 対応が必要 → どのような理由で、いつごろ(ex. 1週間以内・1か月以内・以後)
- ⑤ 右上に、この世帯にどんな人がいるか わかりやすいように該当に○をつける。

裏面

- 3 歯科項目: 歯科衛生士がピックアップ
- 4 栄養の状況: 家族全体の傾向を聞いてください。ピックアップ作業は、栄養士がします。
家族は食べていても、家族内で例外的に「食べていない」などの人がいたら「だれか」を書く。
- 5 近隣・社会との関係: コミュニティづくりの核になる人を見つける。誰かを記載 → 該当者は名前欄の右に☆印
・交友関係(悩みを相談できる友人無&近所付き合い 全くなし) 誰かを記載 → 該当者は名前欄の右に◎印
- 相談・要望等は、回答の必要のある場合、訪問担当者または、引き継ぎ担当者が確認し回答

● 事後処理

- ① 引き継ぎを受け、種別及び対応は訪問者の判断通りでよいか確認（必要なときは変更）
- ② 担当課に情報提供する分は、エリア担当（引き継ぎ担当）がコピーし、伊藤へ提出
- ③ フォローの必要な世帯票（1週間以内）は、コピーしエリア担当に渡す。
- ④ 調査票を歯科衛生士に渡す。ピッキング終了以後、歯科衛生士から栄養士に渡す。
- ⑤ 栄養士は作業終了後、入力担当者に渡す。（須藤さんの机の上に置く）
- ⑥ 入力終了後、エリア担当者がファイリング